



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社 ゴールドウイン

上場取引所 東

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	24,473	1.6	526	30.0	873	6.3	708	4.1
25年3月期第2四半期	24,086	17.2	404	—	821	36.7	680	79.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,448百万円 (120.2%) 25年3月期第2四半期 657百万円 (△8.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.03	—
25年3月期第2四半期	11.59	11.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	49,482	22,559	45.5
25年3月期	45,176	21,433	47.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 22,496百万円 25年3月期 21,314百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	0.9	2,100	10.4	3,200	1.0	2,300	△12.8	39.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	59,560,218 株	25年3月期	59,393,218 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	610,334 株	25年3月期	645,169 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	58,853,522 株	25年3月期2Q	58,688,286 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）におけるわが国経済は、所謂アベノミクス政策による金融緩和その他積極的な財政出動をベースとした経済政策への期待感から円安株高が進行し、輸出企業を中心に企業業績の改善が見られ、景況感は緩やかに回復して来ております。スポーツアパレル業界におきましては、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定などによりスポーツへの関心は高まっており、また個人消費の持ち直しなどの動きも見られる一方で、消費者ニーズや購買行動の多様化、更には大型店舗増加による競争激化や流通再編の動きが加速しており市場環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は当連結会計年度（第63期）を初年度とする平成28年3月期（第65期）までの中期経営計画を策定し、その遂行に全社を挙げて取組んでおります。

当第2四半期連結累計期間において、売上高については、「ザ・ノース・フェイス」ブランド、「スピード」ブランド、「ダンスキン」ブランドの販売は堅調に推移しております。特に「ザ・ノース・フェイス」ブランド事業は、アウトドア市場が年々拡張する中で着実に伸長し増収となりました。「チャンピオン」ブランドについては、一部基幹商材が消費者嗜好変化により在庫過剰をきたし販売調整を行った為、前年同期比減収となりました。全般적으로는春夏商品の販売が猛暑の影響もあり好調に推移した結果、前年同期比増収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比387百万円増（1.6%増）の24,473百万円となりました。営業利益については、売上高の増加および春夏商品の調達原価率削減による粗利益率の改善等により増益となり、前年同期比121百万円増（30.0%増）の526百万円となりました。経常利益については、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporation（平成25年7月1日 GOLDWIN KOREA Corporationより社名変更しております）の第2四半期業績が第1四半期に引き続き低調推移となり、持分法投資利益が減少した結果、微増益となり、前年同期比52百万円増（6.3%増）の873百万円となりました。四半期純利益は前年同期比27百万円増（4.1%増）の708百万円となりました。

当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期と下半期の業績に季節的変動があるため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高との間に著しい相違があります。

なお、記載金額には、消費税等は含まれておりません。

第1四半期連結会計期間から、当社グループは単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご覧ください。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は49,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,305百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加1,335百万円、商品及び製品の増加1,330百万円および投資有価証券の増加1,171百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,180百万円増加し、26,923百万円となりました。これは主に、借入金の増加2,898百万円、支払手形及び買掛金の増加1,097百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,125百万円増加し、22,559百万円となりました。その結果、自己資本比率は45.5%となっております。

#### （キャッシュ・フローの状況に関する分析）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5,026百万円となり、前連結会計年度末より1,265百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは939百万円（前年同期は2,431百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益874百万円の計上があったものの、たな卸資産の増加1,362百万円や売上債権の増加791百万円等があったためであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは271百万円（前年同期は490百万円の使用）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,419百万円（前年同期は2,838百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の借入による収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、概ね当初予測の範囲内で推移しており、現段階では平成25年5月14日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,606	5,942
受取手形及び売掛金	11,090	11,882
商品及び製品	9,057	10,387
仕掛品	78	130
原材料及び貯蔵品	637	621
その他	1,239	1,150
貸倒引当金	△8	△18
流動資産合計	26,701	30,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,682	1,638
土地	755	757
その他（純額）	1,303	1,254
有形固定資産合計	3,741	3,649
無形固定資産		
商標権	77	58
その他	782	676
無形固定資産合計	860	735
投資その他の資産		
投資有価証券	9,841	11,013
差入保証金	2,114	2,073
その他	2,244	2,233
貸倒引当金	△326	△319
投資その他の資産合計	13,873	15,000
固定資産合計	18,475	19,385
資産合計	45,176	49,482

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,037	12,135
短期借入金	1,028	4,368
1年内償還予定の社債	36	20
1年内返済予定の長期借入金	1,398	1,321
未払法人税等	268	217
賞与引当金	660	696
返品調整引当金	507	373
その他	2,916	2,419
流動負債合計	17,853	21,552
固定負債		
長期借入金	1,982	1,617
退職給付引当金	2,351	2,289
その他	1,555	1,463
固定負債合計	5,889	5,370
負債合計	23,742	26,923
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,041	7,079
資本剰余金	3,719	3,756
利益剰余金	11,602	11,957
自己株式	△278	△259
株主資本合計	22,085	22,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300	383
繰延ヘッジ損益	△20	△25
為替換算調整勘定	△1,051	△395
その他の包括利益累計額合計	△770	△37
新株予約権	60	—
少数株主持分	59	62
純資産合計	21,433	22,559
負債純資産合計	45,176	49,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	24,086	24,473
売上原価	14,183	14,288
売上総利益	9,902	10,185
返品調整引当金戻入額	85	134
差引売上総利益	9,987	10,320
販売費及び一般管理費	9,582	9,794
営業利益	404	526
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	29	29
持分法による投資利益	492	395
その他	57	41
営業外収益合計	584	473
営業外費用		
支払利息	99	73
その他	68	52
営業外費用合計	167	125
経常利益	821	873
特別利益		
新株予約権戻入益	—	39
固定資産受贈益	26	—
その他	0	1
特別利益合計	27	40
特別損失		
固定資産処分損	7	0
店舗閉鎖損失	1	34
投資有価証券評価損	11	—
その他	0	4
特別損失合計	21	39
税金等調整前四半期純利益	827	874
法人税、住民税及び事業税	143	160
法人税等調整額	△3	△1
法人税等合計	140	159
少数株主損益調整前四半期純利益	687	715
少数株主利益	6	7
四半期純利益	680	708



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	687	715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△222	82
繰延ヘッジ損益	△5	△5
為替換算調整勘定	17	167
持分法適用会社に対する持分相当額	180	488
その他の包括利益合計	△29	733
四半期包括利益	657	1,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	650	1,441
少数株主に係る四半期包括利益	7	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	827	874
減価償却費	401	492
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	120	△61
のれん償却額	24	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	2
受取利息及び受取配当金	△34	△36
支払利息	99	73
持分法による投資損益 (△は益)	△492	△395
固定資産処分損益 (△は益)	7	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△976	△791
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,527	△1,362
仕入債務の増減額 (△は減少)	△944	1,093
その他	282	△463
小計	△2,202	△549
利息及び配当金の受取額	34	36
利息の支払額	△110	△80
法人税等の支払額	△153	△204
特別功労金の支払額	—	△140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,431	△939
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△670	△419
定期預金の払戻による収入	367	441
有形及び無形固定資産の取得による支出	△133	△150
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	4
投資有価証券の取得による支出	△11	△159
投資有価証券の売却による収入	8	4
差入保証金の差入による支出	△73	△59
その他	23	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△490	△271
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,009	3,333
長期借入れによる収入	200	320
長期借入金の返済による支出	△1,056	△761
社債の償還による支出	△16	△16
ストックオプションの行使による収入	127	97
配当金の支払額	△293	△352
その他	△131	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,838	2,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△78	1,265
現金及び現金同等物の期首残高	4,992	3,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,913	5,026

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アウトド アスタイル 事業	アスレチ ックスタ イル事業	アクティ ブスタ イル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,676	9,401	1,941	22,019	2,066	—	24,086
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	0	8	11	198	△210	—
計	10,678	9,401	1,950	22,030	2,265	△210	24,086
セグメント利益又は損失 (△)	1,261	△12	109	1,358	△35	△502	821

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイテック事業およびコンプレッションアンダー事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,085百万円および持分法による投資利益492百万円が含まれております。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度までの当社グループは、「アウトドアスタイル事業」「アスレチックスタイル事業」「アクティブスタイル事業」を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「スポーツ用品関連事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、当社組織構造改革により従来のスタイル別の事業本部制を廃止して事業統括本部を発足させ、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画の基本戦略であるマルチブランド戦略推進によるシナジー効果創出、発注流動改革を更に一元的に管理・推進するマネジメント体制に移行したことによるものであります。

これにより、当社グループは単一セグメントとなることから、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。